

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	システム情報処理実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	前期	教室名	PCルーム
担 当 教 員	BSC	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>この授業は、在学中の専門課程や卒業後の就職先においてコンピュータを活用するための基礎を習得するものです。医療系の業界に進むことを希望する学生に対し、医療の現場に必要なデータベーススキルをAccessを使って習得することを目的にしています。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>出席(20%)、平常点(10%)、試験点(70%:内訳(定期試験40%、課題30%))</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <ul style="list-style-type: none"> イーラーニングテキスト 講義はスキルのレベル別に分類されています。レベル1=普通の社会人スキル、レベル2=できる社会人スキル、レベル3=卒業後の各業界で要求されるスキル。BSCと各学科でコラボして開発した講義はレベル3に含まれます。 FOMテキスト Microsoft Access2019 基礎/応用 						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	新しいテクノロジーや情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく上手に活用できる	CCT入門1	イーラーニングテキスト で復習は可能です。	
	各コマに おける 授業予定	ログイン/受講時の注意点/CCT講座を受講する意義 インターネットの情報を理解し、かつ、安全にルールに従った インターネット利用ができる知識や能力を身につける				
第2回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	文書作成の基本的な操作ができる	Wordダイジェスト	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認す ることができます。	
	各コマに おける 授業予定	文書作成の基本的な流れ/ページ設定/文字の書式設定/図形・画像などの挿入/表の作成/ページ罫線				
第3回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる	Excelレベル1	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認す ることができます。	
	各コマに おける 授業予定	表の作成(復習)/オートフィル/数式の作成/SUM関数/グラフ作成/印刷				
第4回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	データベース機能を理解し活用できる	Excelレベル3A データベース	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認す ることができます。	
	各コマに おける 授業予定	データベースとは/データを並べ替える/ フィルター/ウィンドウ 枠の固定/大きな表を効率よく印刷する/他ソフトへのグラフ貼 り付け				
第5回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	応用的な関数を活用できる	Excelレベル3BV 関数応用 +VLOOK	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認す ることができます。	
	各コマに おける 授業予定	RANK.EQ関数/SUMIF関数/ IF関数/ IFS関数/VLOOKUP関 数				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	スライド作成の基本的な操作ができる	PowerPointダイジェスト	イーラーニングテキストで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの作成手順/テーマとバリエーション/スライド/プレースホルダー/画像の挿入/テキストボックス/図形作成/ワードアート/画面切り替え効果の設定/アニメーション効果/ノートの作成/スライドショー		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	PowerPointを使って学科紹介スライドを作成することができる	学科紹介作成	イーラーニングテキストで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	学科紹介スライドを作成		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	Access基礎1 Accessの基礎知識を理解し、データベースの設計ができる	FOMテキスト Access基礎第1.2.3章	FOMテキストで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	データベースの構成要素と構築の流れの確認/テーブルの検討/テーブル作成		
第9回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	Access基礎2 リレーションシップの作成、クエリによるデータの加工ができる	FOMテキスト Access基礎第4.5章	FOMテキストで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	リレーションシップの作成/クエリの作成(並べ替え、フィールドの入れ替え、演算フィールド)		
第10回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	Access基礎3 フォームの作成ができる	FOMテキスト Access基礎第6章	FOMテキストで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	フォームの作成/コントロールのプロパティ設定		
第11回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	Access基礎4 クエリによるデータの抽出と集計ができる(1)	FOMテキスト Access基礎第7章	FOMテキストで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	クエリ作成(ワイルドカードの利用、パラメータクエリ)		
第12回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	Access基礎5 クエリによるデータの抽出と集計ができる(2)	FOMテキスト Access基礎第7章	FOMテキストで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	クエリ作成(比較演算子、Between And演算子、集計、Where条件の設定)		
第13回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	Access基礎6 レポートの作成ができる	FOMテキスト Access基礎第8章	FOMテキストで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	レポート作成/宛名ラベル作成		
第14回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	Access基礎7 便利な機能を活用できる	FOMテキスト Access基礎第9章	FOMテキストで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	ナビゲーションフォームの作成/オブジェクトの依存関係/総合問題1の実施		
第15回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	Access応用1 テーブルの活用、リレーションシップと参照整合性の設定ができる	FOMテキスト Access応用第1.2.3章	FOMテキストで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	ふりがな設定/住所支援プロパティ設定/参照整合性の設定/ルックアップフィールドの作成		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	システム情報処理実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	PCルーム
担 当 教 員	BSC	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>この授業は、在学中の専門課程や卒業後の就職先においてコンピュータを活用するための基礎を習得するものです。医療系の業界に進むことを希望する学生に対し、医療の現場に必要なデータベーススキルをAccessを使って習得することを目的としています。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>出席(20%)、平常点(10%)、試験点(70%:内訳(定期試験40%、課題30%))</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>・イーラーニングテキスト 講義はスキルのレベル別に分類されています。レベル1=普通の社会人スキル、レベル2=できる社会人スキル、レベル3=卒業後の各業界で要求されるスキル。BSCと各学科でコラボして開発した講義はレベル3に含まれます。 ・FOMテキスト Microsoft Access2019 基礎/応用</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	Access応用2 クエリの活用ができる	FOMテキスト Access応用第4章	FOMテキストで講義の内容を確認することができます。	
		各コマにおける授業予定	関数を利用した演算フィールドの作成 (Month、Datedif)			
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	Access応用3 アクションクエリの作成ができる	FOMテキスト Access応用第5章	FOMテキストで講義の内容を確認することができます。	
		各コマにおける授業予定	テーブル作成クエリ/削除クエリ/追加クエリ/更新クエリ(1)/更新クエリ(2)/不一致クエリ			
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	Access応用4 販売管理システムのフォームを構築し、活用できる	FOMテキスト Access応用第6.7章	FOMテキストで講義の内容を確認することができます。	
		各コマにおける授業予定	コンボボックスの作成/リストボックスの作成/オプションボタンの作成			
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	Access応用5 メイン・サブフォームの作成ができる	FOMテキスト Access応用第8章	FOMテキストで講義の内容を確認することができます。	
		各コマにおける授業予定	メイン・サブフォームの作成/演算テキストボックスの作成/DateAdd関数/DateSerial関数/識別子			
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	Access応用6 メイン・サブレポートの作成ができる	FOMテキスト Access応用第9章	FOMテキストで講義の内容を確認することができます。	
		各コマにおける授業予定	メイン・サブレポートの作成/集計行の追加/演算テキストボックスの作成			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	Access応用7 レポートの活用ができる	FOMテキスト Access応用第10章	FOMテキストで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	集計行のあるレポート作成/並べ替え/グループ化/累計の設定/パスワード、起動時の設定		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	Accessまとめ問題(1)	まとめプリント	まとめプリントで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	まとめ問題(基礎、応用)の実施		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	Accessまとめ問題(2)	まとめプリント	まとめプリントで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	まとめ問題の操作解説を聞き、間違った操作の見直しを行う		
第24回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第26回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第27回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第28回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第29回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第30回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			